



一本道

西小学校通信 No.25

令和7年12月10日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

1 「あいさつの神」なんと232人、学校の元気力をけん引！

12月5日、久しぶりに体育館側入り口で、朝の挨拶運動をしました。以前よりも確実に挨拶に張りがある子供が増えました。もどりながら運動場近くに来た時、遠くの2階の4年生ベランダから「校長先生、おはようございます。」という元気な挨拶が聞こえてきました。さらに、児童昇降口から、「おはようございます。」という2年生の元気な挨拶運動の声が聞こえてきました。2年生の挨拶運動は、9月12日から休むことなくずっと続いていて、西小の校舎内に元気を届けてくれています。朝から私の元気力も更にアップしました。

そして、廊下には「あいさつの神」になった人の名前が掲示されています。「何人いるのだろうか？」と思い、数えてみるとなんと「232人」でした。267人中232人で、87%が「あいさつの神」なのです。この人たちが学校の元気力を引っ張ってくれています。まさに、「あいさつ」は自分と相手の「元気力」を高めてくれるスペシャルな言葉です。



2 人吉球磨の代表として玉名市にて授業、学び続ける教師

1月16日、西小の田上先生が、人吉球磨の代表として玉名市の小学校にて2年生国語の飛び込み授業を行います。そこで、12月1日、その事前授業を本校の2年1組教室にて行いました。テーマは「本物の対話を通して学び合う国語科教室」です。田上先生は「友達のすてきなところを伝え合う『わくわくレター交換会』をしよう」という学習を構想しました。そして、3つ

のレターを比較して、「素敵どころが伝わるわくわくレター1位はどの手紙でしょうか。」という発問で子供たちに考えさせました。下の写真は、自分の考えと理由を書いた後に、友達と対話をしている場面です。2年生の子供たちの発表力も素敵でしたし、田上先生の授業力も素晴らしかったです。教師の一番の「やりがい」は、間違いなく『授業』です。

子供たちの主体的で、対話的で、深みのある学びを目指し、西小学校の先生方も日々学び続けています。



3 6年租税教室、「錦町は税金から一人何円の給食費？」

12月10日、錦町税務課から来校いただき、6年生を対象にした租税教室を行いました。その中で、「錦町は税金から一人何円の給食費（義務教育の9年間）を払っているのでしょうか？」という質問をされました。その後、給食費一食515円（材料費・人件費・光熱費）、年間182回が9年間という数字を提示され、子供たちに計算させられました。正解の「約84万円」に子供たちも驚いていました。最後の感想発表タイムで、宮原けいさんが「始めは税金はいいらないと思っていたけど、税金があることで今の生活ができているし、税金は大切だと思いました。」と感想を発表しました。

